

3号機 原子炉機器冷却水系への冷却水補給量の増加について

平成18年4月26日

発生号機	3号機（定格熱出力一定運転中） ：沸騰水型、定格電気出力110万キロワット
発生年月日	平成18年4月26日
発生時の状況	<p>定格熱出力一定運転中の3号機において、原子炉機器冷却水系（※1）の冷却水（脱塩水（※2））を補給するタンクの水位低下量が、通常は約1mm／日のところ、4月24日より増加（約35mm／日）していることを、4月26日に運転員が確認しました。</p> <p>冷却水補給量増加の原因について調査したところ、非常用ディーゼル発電機の潤滑油冷却器の冷却水が排水弁内にわずかに流れ出ていることを確認しました。このため冷却器と排水弁をつなぐ配管に設置されたドレン弁（通常閉止）を締め直したところ、冷却水の流出は止まりました。なお、他の機器のドレン弁からの流出はありませんでした。</p> <p>本事象による3号機の運転への影響はなく、安定に運転を継続しています。</p> <p>また、外部への放射能の影響もありません。</p>
原因	4月24日に非常用ディーゼル発電機の確認運転（月1回）を実施した際に、潤滑油冷却器内部の圧力変化により、当該ドレン弁の閉止状態が変化したことからわずかな流出に至ったものと推定しました。補給水タンクの水位は引き続き監視してまいります。
お知らせ基準	「表2-4」に該当します。

※1 原子炉機器冷却水系は、原子炉系機器（ポンプ、モータ等）の冷却を行うための系統です。原子炉機器冷却水系の系統内を循環する冷却水により機器の冷却を行っています。

※2 脱塩水は、不純物等を取り除いた水です。

以上

3号機 原子炉機器冷却水系統概略図

